



スモールステップ



9月号

来年度の教育課程等について

校長 田島 忍

本日の始業式では児童・生徒たちに、いじめ防止、生活と勉強、学校行事、豊かな心、体罰や性暴力の根絶などについて話をいたしました。御家庭と緊密に連携して、実りの多い2学期にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、既にお伝えしてきましたとおり、本校でも他校と同様に、国と都の動向を踏まえて、教員の働き方改革を推進し、授業時数を標準時数に近づけた教育課程を編成・実施いたします。来年度は、各学年でスクールバス2便下校の日を週に1日ずつ減らす形になります。小学部1年生は、今年度から既に2便下校をなくしていますので、変更はありません。また、下校時刻も変更して、1便の日は14:00下校、2便の日は15:30下校と、それぞれ5分早くなります。

このように、お子様の在校時間は週に2時間程度まで減ることになりますが、教育内容は充実させていきます。教員は、教材の準備、打合せ、情報収集、自己研鑽等のために充てられる時間を大切に使いながら、プロとして授業の質を高めていきます。採用から3年目までの若手教員が20名と多いため、急務になっている人材育成のためにも時間を充ててまいります。

児童・生徒の見聞を広め経験を増やす活動として、電車の乗車学習や買い物学習等には引き続き力を入れていきます。今年度から小学部では、新たな場所での校外学習等も計画し、地下鉄博物館、国立競技場、マクセルアクアパーク品川、レゴランド等を開拓するとともに、一部の復路を電車で移動する行程にしています。中学部では、自立と社会参加に向けた力の育成を図り、教科「職業・家庭」の授業を軌道に乗せるよう努めています。来年度、両学部で国語、算数（数学）、音楽の教科で文部科学省発行の教科書を使用して、授業を充実させていきます。

これらの詳細については、9月5日の全校保護者会で説明いたしますが、保護者の皆様には御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

本校の「福祉避難所開設訓練」について

主幹教諭（生活指導担当） 赤荻 浩之

本校は、品川区との協定により大規模災害時に、地域の一次避難所での生活が難しい障害のある方や高齢者（要配慮者）を受け入れる「福祉避難所」になっています。そのため、年1回、教職員全員で「福祉避難所開設訓練」を（夏・冬交互、今夏は7月25日実施）行い、受付、避難所（ホール）、災害トイレ、食糧、救護所等に必要な品川区備蓄品・器材の確認、設営訓練を実施しています。

「いつか来る その日のために 今 防災」

これは、令和7年度東京消防庁防災標語に選定された標語です。御家庭でも学校の避難訓練の日等を機会にぜひお子様と地震の時の身の守り方など話題にいただき「いつか来る その日のために」備えていただければと思います。



災害トイレ設営



避難所設営

